



Rotary 第2580地区



GOVERNOR's MONTHLY LETTER

2025-26 ガバナー月信 2月号 [Vol.8 February 2026]

ロータリーの楽しみ方 「奉仕の繋がりが大きな成果になる」



国際ロータリー第 2580 地区

2025-26 年度ガバナー

中川 雅雄

今年の 1 月で満 72 歳を迎えました。入会して 30 年、人生の 4 割強をロータリーと共に過ごした事になります。なぜ長い間付き合う事ができたか考えると大きな理由が 3 つあると思います。

一つめは例会、家庭集会いわゆる炉辺会合、家族会、同好会あるいは趣味の会（残念ながら私自身は入っていませんが）などを通した親睦の場の楽しみ。

二つめは学びの場としての楽しみ。卓話、とくにゲスト卓話。時局解説や今年の運気などの話題の時は、例会に行く日を楽しみにしておりました。加えてメンター（先輩経営者）との交流は私にとって重要な要素になっています。とくに 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災や 2019 年から始まったコロナ禍においての諸先輩のアドバイスや問題解決の姿勢は非常に役に立ちました。自分自身の心が折れるような時でも、例会に出席するだけで『がんばるぞ！』と勇気を貰ったような気がしました。

三つめは奉仕と繋がりの場としての楽しみがあると思います。奉仕をする場として楽しみは、奉仕活動した後の達成感がダイレクトに実感できるのが特長です。『奉仕事業には失敗はない』という格言どおり、近年新しく創立されたクラブ、とくに若い年齢のメンバーが奉仕活動をするためにロータリーに入会したという傾向が多くみられます。

私にとって最も印象に残っている奉仕活動が東日本大震災の時です。2 次災害とも言える津波被

「地区の大きな目標」

1. クラブをもっと元気にしよう。
例会を楽しくしよう。
2. 地域社会に役立つ活動をしよう。
3. デジタルをうまく役立てよう。
+ONE よい事はマネしよう。

害と原発事故。実際に地震直後からテレビから流れたクルマが波に呑み込まれる衝撃的なシーンを観ながら呆然としていました。そんな放心状態だった私に喝を入れてくれたのが浅草クラブの先輩たちでした。『被災者を助けるぞ』という一言が、最後には浅草中央 RC、上野 RC、東商台東支部、浅草法人会、上野法人会など台東区全域の社会奉仕団体を巻き込む大きな救援活動になりました。被災直後はお金より物資。大きな避難所は公的機関に任せ、私たちは小規模な避難所、神社や寺院に避難している人たちに対する救援活動を行いました。下谷神社が被災地域の神社庁に、小規模の避難所で不足している物資の要望書を依頼、それをもとに各 RC や他の団体が下谷神社に救援物資を集積するという形で進められました。当初はタオルやブルーシートから始まり、最後には化粧品のサンプルや LED ランプなど様々な物資を送る事ができました。この救援活動は被災直後の短期的な救援活動として評価され、私にとって印象深い活動でした。この救援活動の成功の要因は、普段からのロータリー活動や他の団体での人間関係が大きく働いたと思っています。まず、最初にロータリアンである下谷神社の宮司に会って状況を聞いた事。そして、浅草や浅草中央のメンバーにこの救援活動への参加を依頼した事が、台東区全体に大きなうねりとして広がったと思います。日頃からの地道な活動がこのような大きな成果を残したのだと確信しています。

ロータリークラブにおけるハラスメント対策その2

地区法務担当 川 義郎（弁護士）
所属：東京浅草ロータリークラブ

（ガバナー月信1月号に掲載いたしました「1. ハラスメントの構造」、「2. ハラスメントの原因」の続きです。1月号と合わせてお読みください）

3 ソフトな対策の例

基準をアップデートできない会員に対し、「間違っていますよ」と言っても無駄であるどころか逆効果である。なぜなら、そもそも周囲の意見を聞き入れることができる会員はハラスメントをしないし、周囲の意見を聞き入れないで今の地位を得た方々であるからこそハラスメントを行うのである。

そのため、ソフトな対策としては、その会員を巻き込んで「ハラスメント対策グループ」を組成するという方法が考えられる。「自分が正しい」と信じている方は、「自分のこと」としては認識できなくても、「他人のこと」としては認識できるということが往々にしてある。その際、ある程度きちんとものが言える若手の会員をその会に参加させることが必要である。

それほど会員数が多くないRCにおいては、若手を中心として、ハラスメントを行う会員とその相手方との間に緩衝帯を設けることが望ましい。たとえば、ハラスメントを行う会員には事務局に直接連絡をとらせないとか、酒席の際に、集団で囲むなどといった対策である。

4 持続性があるロータリークラブを目指して

しかしながら、これらの対策も若手会員に負担がかかる弥縫策にすぎない。そもそもRC自体が高齢化しており、人口構成が逆三角形に近くなっている状況で、せっかく入会した若手会員にそのような役割を求めるることは望ましいこととはいえない。ハラスメントに限らず、単なる自分の固定観念にすぎないことを「伝統」（=変わらない価値観）として若手会員に押しつけるということがもし仮にあるとすれば、そのようなRCでは新入会員は増えることなく、いずれ淘汰されるであろう。

したがって、持続性があるRCであり続けるためには、時代の進展に応じた基準のアップデートが必要である。そのためには、若手会員の意見に耳を傾けることができる姿勢が重要であり、さらにはそのような姿勢を醸成できるRCが時代に求められているものといえる。

第2580地区クラブ数・会員数

2025年12月31日時点の集計結果

7月1日：3,007名（内女性 350名・11.64%）

12月末日：3,080名（内女性 362名・11.78%）

クラブ数：73クラブ

今年度入会：177名

今年度退会：104名

今年度純増：73名



地区サイト
中川ガバナー
メッセージ



地区大会の
お知らせ

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー
下野 一郎 【東京青梅】

ポリオ・プラス・ソサエティ
中村 才博 【東京後楽】

米山功労者・メジャードナー
17回 松坂 順一 【東京葛飾東】
12回 榎本 孝之 【東京練馬西】
11回 内田 昌之 【東京練馬西】

米山功労者・マルチプル
6回 神谷 恭 【東京葛飾東】

1月15日現在

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

メジャードナー
レベル2 松坂 順一 【東京葛飾東】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
3回 中村 才博 【東京後楽】
北島 茂 【東京青梅】
2回 住田 直子 【東京後楽】
芳野 隆宣 【東京青梅】
1回 佐藤 匡 【東京青梅】
中島 慶貴 【東京青梅】

